

大気圧载荷工法

大気圧载荷工法は、盛土のかわりに大気圧を圧密荷重として利用する工法です。
大気圧の载荷は地盤表面を密封シートで被覆し、真空ポンプでシートと地盤の間に負圧を生じさせて行います。
負圧荷重は、通常50～80kN/m²程度です。

特長

盛土土砂の入手が困難な場合に適しています。

盛土を行わないため、地盤の滑り破壊が生じません。

施工手順

敷砂施工



パーバードレン打設



密封シートによる表層被覆



シート端部は
地盤内に挿入

負圧設備を敷砂層に接続



集気・集水

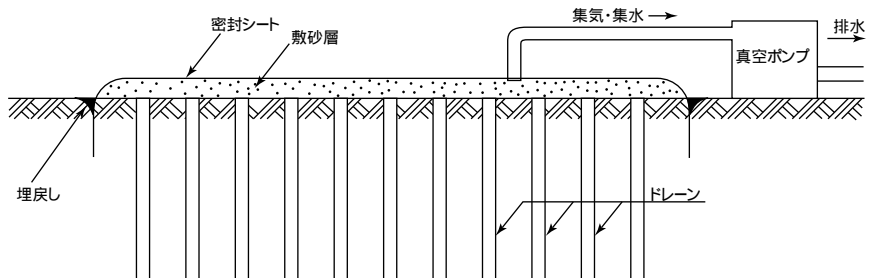


排水

施工機械



工法概要



施工実績

| 工事名 | 工期 | 施工場所 | 発注者 | 対象土 | 施工概要 |
|--------------------------|------------|------|---------|------------|----------------------------------------------|
| 中部電力武豊火力発電所 大気圧工法試験工事 | 64.10～65.1 | 愛知県 | 中部電力(株) | 粘性土 | パーバードレンピッチ:0.76m 改良面積:790m ² |
| 東名高速焼津基礎 地盤安定工試験工事 | 66.3～66.8 | 静岡県 | 道路公団 | 腐植土 粘性土 | パーバードレンピッチ:1.0m 改良面積:1,620m ² |
| オーストラリア館 移設地盤改良工事 | 71.8～72.2 | 三重県 | 公害防止事業団 | 埋立シルト層 | パーバードレンピッチ:0.7m 改良面積:5,600m ² |
| 市川流通加工基地 地盤改良工事 | 74.4～74.10 | 千葉県 | 日本鋼管(株) | 埋立シルト層 | パーバードレンピッチ:1.0m 改良面積:50,000m ² |